

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 ヤギ  
株式会社 ヤギ  
コード番号 7460 URL <http://www.yaginet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 八木 秀夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 三浦 明石

TEL 06-6266-7332

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	61,001	8.0	1,014	△46.6	1,523	△26.2	706	△34.5
25年3月期第2四半期	56,463	1.5	1,901	△8.0	2,064	5.9	1,078	23.8

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 993百万円 (45.6%) 25年3月期第2四半期 682百万円 (21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	84.08	—
25年3月期第2四半期	128.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	59,002	27,116	45.9
25年3月期	53,989	26,500	49.1

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 27,111百万円 25年3月期 26,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	5.4	3,000	0.6	3,400	4.7	1,840	0.1	219.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	10,568,000 株	25年3月期	10,568,000 株
26年3月期2Q	2,169,210 株	25年3月期	2,169,103 株
26年3月期2Q	8,398,841 株	25年3月期2Q	8,399,082 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいおり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務表規則」に従い作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済政策、金融緩和対策の推進を背景とし、株価回復、一部には企業収益の改善が見られるなど景気回復に向けた明るい兆しが見え始めています。しかしながら、依然として欧州債務問題、中国経済の減速など世界経済への不安材料が多く、先行き不透明な状況が続いております。

繊維業界におきましても、景気回復への期待感から高価格帯商品の売行きが好転するなど個人消費マインドの改善が見られましたが限定的であり、個人消費全体の回復には至っておりません。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「NEW YAGI 120」の最終年度にあたり、重点施策である「海外市場の開拓」「川下志向」「機能強化」「人材育成と社内インフラの整備」を進めております。原料、テキスタイル、繊維二次製品の各部門におきまして、高付加価値商品の開発や優良取引先との取り組み強化に注力するとともに、引き続きチャイナプラスワンの開発を進めており、その一環として設立・出資した生産拠点を含め供給体制の強化を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は61,001百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は1,014百万円（前年同期比46.6%減）、経常利益は1,523百万円（前年同期比26.2%減）、四半期純利益は706百万円（前年同期比34.5%減）となりました。

なお、事業セグメント別の売上高の状況は、以下のとおりであります。

## [繊維セグメント]

## &lt;原料部門&gt;

原料部門では、円安の影響により長繊維、短繊維分野ともに輸入原料のコストアップが続いており、採算の見直しを迫られている状況ですが、輸入品、国内原料とも値上げ分を売り先に転嫁できず厳しい環境下にあります。

資材用途向けの原料輸出に関しましては、北米を中心とした先進国や新興国などの需要に支えられ比較的好調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、引き続き高機能糸などの高付加価値商品の国内外への拡販を推し進めるとともに、生産効率化に注力してまいりました。

この結果、原料部門は売上高9,979百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

## &lt;テキスタイル部門&gt;

テキスタイル部門では、円安の影響を受け仕入先から価格の見直しを迫られる一方、そのコストアップ分を販売価格へ転嫁できず非常に苦しい状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、天然素材、機能素材を含めたオリジナル商品の拡販を進め、海外向けにも日本素材の輸出に注力してまいりました。また中心的な販売戦略である「テキスタイル・プロジェクト」では、国内素材に対する要望に応えるべく、素材企画力を活かした幅広い提案を行い、商品差別化に努めてまいりました。

この結果、テキスタイル部門は売上高7,819百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

## &lt;繊維二次製品部門&gt;

繊維二次製品部門では、店頭におけるヒット商材が少なく、夏のセール時期が分散化しており盛り上がりを欠いた商況で厳しい状況で推移しました。また、中国生産の加工賃上昇に加え、急激な円安の影響による原材料高騰でコストアップが続いております。一部で店頭価格を上げる動きも見られましたが、全体としてはコストアップ分を販売価格へ転嫁できず収益の悪化を余儀なくされ、大変厳しい状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、ODM（企画段階から請け負い、製造、供給する）生産を推進するとともにオリジナル商材を開発するなど競争力強化に努めてまいりました。

さらに、中期経営計画に基づき、生産体制においてチャイナプラスワンの海外拠点を有効に活用し安定供給を図る一方、生産基地を柔軟にシフトさせ、為替変動に影響されない商売の仕組み作りを進め、利益改善に注力してまいりました。

この結果、繊維二次製品部門は売上高41,698百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

## [不動産セグメント]

当第2四半期連結累計期間における不動産セグメントは売上高167百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,308百万円増加し、46,293百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ704百万円増加し、12,708百万円となりました。これは、時価の上昇に伴い投資有価証券の時価評価差額が増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4,121百万円増加し、28,568百万円となりました。これは、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ276百万円増加し、3,318百万円となりました。これは、投資有価証券の時価評価差額の増加に伴い、繰延税金負債が増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ615百万円増加し、27,116百万円となりました。これは、投資有価証券の時価評価差額の増加に伴い、その他有価証券評価差額金が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成25年5月13日に公表しました予想数値に対して、以下のとおり修正いたします。

通期の連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	115,000	3,500	3,400	2,050	244円08銭
今回修正予想 (B)	120,000	3,000	3,400	1,840	219円08銭
増減額 (B-A)	5,000	△500	—	△210	—
増減率 (%)	4.3%	△14.3%	—	△10.2%	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	113,893	2,983	3,248	1,838	218円90銭

第2四半期連結累計期間において円安の影響によるコストアップを販売価格に転嫁できなかつたことなどにより減益となりました。また、特別損失として関係会社株式評価損、関係会社出資金評価損、貸倒引当金繰入額を計上したため、これを踏まえ通期の業績予想を修正いたします。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,028,149	2,057,235
受取手形及び売掛金	31,686,154	34,548,478
有価証券	223,405	223,422
たな卸資産	6,606,502	8,106,633
繰延税金資産	550,862	642,403
その他	1,034,791	871,929
貸倒引当金	△144,621	△156,137
流動資産合計	41,985,243	46,293,965
固定資産		
有形固定資産	4,678,299	4,604,994
無形固定資産	12,870	10,877
投資その他の資産		
投資有価証券	5,675,282	6,182,477
その他	1,949,622	2,248,187
投資損失引当金	△214,360	—
貸倒引当金	△97,212	△337,830
投資その他の資産合計	7,313,332	8,092,834
固定資産合計	12,004,502	12,708,706
資産合計	53,989,746	59,002,672
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,811,920	13,611,554
電子記録債務	—	931,166
短期借入金	5,357,296	9,319,553
未払法人税等	627,126	486,065
引当金	707,148	665,458
その他	3,943,811	3,554,735
流動負債合計	24,447,304	28,568,534
固定負債		
繰延税金負債	709,126	927,178
退職給付引当金	755,332	777,084
その他の引当金	69,544	70,176
その他	1,507,626	1,543,689
固定負債合計	3,041,629	3,318,128
負債合計	27,488,933	31,886,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	805,188	805,188
利益剰余金	24,744,861	25,073,119
自己株式	△1,629,205	△1,629,377
株主資本合計	25,008,845	25,336,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,327,127	1,734,035
繰延ヘッジ損益	213,337	63,925
為替換算調整勘定	△53,400	△23,727
その他の包括利益累計額合計	1,487,064	1,774,233
少数株主持分	4,902	4,845
純資産合計	26,500,812	27,116,010
負債純資産合計	53,989,746	59,002,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	56,463,797	61,001,042
売上原価	49,024,282	54,490,046
売上総利益	7,439,515	6,510,996
販売費及び一般管理費	5,538,257	5,496,388
営業利益	1,901,257	1,014,607
営業外収益		
受取利息	8,788	8,563
受取配当金	77,119	80,609
為替差益	132,912	484,879
その他	17,150	23,125
営業外収益合計	235,971	597,178
営業外費用		
支払利息	20,521	25,080
売上割引	43,484	29,758
貸倒引当金繰入額	—	29,399
その他	8,774	3,884
営業外費用合計	72,780	88,123
経常利益	2,064,449	1,523,662
特別損失		
投資有価証券評価損	43,890	—
関係会社株式評価損	—	93,917
関係会社出資金評価損	—	52,500
投資損失引当金繰入額	123,192	—
貸倒引当金繰入額	40,630	209,521
特別損失合計	207,712	355,939
税金等調整前四半期純利益	1,856,736	1,167,723
法人税等	778,499	461,576
少数株主損益調整前四半期純利益	1,078,236	706,146
少数株主利益又は少数株主損失(△)	8	△61
四半期純利益	1,078,227	706,208



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,078,236	706,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△283,931	406,911
繰延ヘッジ損益	△115,503	△149,412
為替換算調整勘定	3,529	29,673
その他の包括利益合計	△395,905	287,173
四半期包括利益	682,330	993,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	682,330	993,377
少数株主に係る四半期包括利益	0	△57

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,856,736	1,167,723
減価償却費	146,303	130,145
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	123,192	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	47,584	252,134
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△81,363	△23,483
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△105,000	△89,000
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	43,576	70,793
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	26,754	21,751
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△18,210	△33,858
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,090	631
受取利息及び受取配当金	△85,908	△89,173
支払利息	20,521	25,080
投資有価証券評価損益 (△は益)	43,890	—
関係会社株式評価損	—	93,917
関係会社出資金評価損	—	52,500
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,995,057	△2,862,324
固定化債権の増減額 (△は増加)	△16,713	△26,715
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△574,166	△1,500,131
仕入債務の増減額 (△は減少)	764,132	812,350
未払金の増減額 (△は減少)	△318,123	△450,178
その他	87,047	6,203
小計	△29,715	△2,441,630
利息及び配当金の受取額	85,796	89,222
利息の支払額	△20,479	△25,635
法人税等の支払額	△776,647	△602,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	△741,046	△2,980,366
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△134,428	△130,368
定期預金の払戻による収入	198,000	289,058
有形固定資産の取得による支出	△64,417	△135,499
ソフトウェアの取得による支出	—	△682
投資有価証券の取得による支出	△5,736	△5,487
関係会社出資金の払込による支出	—	△212,464
関係会社株式の取得による支出	△16,184	△174,186
貸付けによる支出	△88,903	△180,252
貸付金の回収による収入	65,479	127,380
その他	△5,813	△21,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,003	△444,250

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,211,943	3,962,256
長期借入れによる収入	14,589	—
長期借入金の返済による支出	—	△2,091
自己株式の取得による支出	△417	△172
配当金の支払額	△376,909	△376,827
その他	△25	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	849,181	3,583,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,246	29,252
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	58,378	187,775
現金及び現金同等物の期首残高	2,050,671	1,094,072
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,109,049	1,281,848

- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。